

広 報

みなみふらの

11

2022. NOVEMBER No.800

- 
- P 2～3 令和4年度上半期財政事情
P 4～5 広報「みなみふらの」
P 6 まちの話題・出来事 (車座ミーティング)
町長への手紙
P 7 まちの話題・出来事 (フォレストタウン記念植樹祭)
〃 (多文化共生活動の実施)
P 8～12 町議会定例・臨時会 行政報告・教育行政報告
P 13～14 カメラレポート
P 15 カメラレポート、教育委員の任命、観光協会通信
P 16 教育委員会通信
P 17 南富高新聞、学校だより
P 18 ほのお
P 19 子育て支援センター「ぶっこ」だより
保育所の元気な子どもたち
P 20 寄附・寄贈

南富良野西小学校
脱穀体験 (10月18日)

令和4年度 上半期財政事情

「財政事情の作成及び公表に関する条例」の定めにより、令和4年度上半期（4月1日から9月30日まで）の予算執行状況をお知らせいたします。
総務課財政係 ☎52・2112

まちの予算規模は？

全会計の予算総額は
54億7,937万4千円

9月30日現在の一般会計予算額は44億1,560万3千円で、当初予算から8億4,452万3千円増加しています。これは、道の駅再編整備に伴う公園整備工事や東幾寅線整備事業、南富良野中学校体育館外壁塗装及び屋根防水補修工事などの補正を行ったためです。

また、6つの特別会計予算の合計額は10億6,377万1千円で、当初予算から6,953万8千円増加しており、全会計を合わせた本年度の予算総額は54億7,937万4千円となっています。

一般会計の執行状況

収入は・・・

一般会計の予算額と収入済額・支

交付税は予算額25億1,825万2千円に対し、収入済額は17億9,347万7千円で収入全体の約8割を占めています。

また、公営住宅改善事業などの財源に充てる国庫支出金は、事業が完了してから交付されるため収入割合は6.2%、同じく町有林整備などの財源に充てる道支出金の収入割合は33.9%となっており、町税の収入割合は66.8%、道の駅再編事業や東幾寅線整備事業などの財源に充てる町債（借金）は、来年3月以降に借入れるため9月30日までの収入はありません。

支出は・・・

東幾寅線整備事業などを含む土木費の支出総額は1億882万7千円で予算額に対する支出割合は27.7%、借金を返済する公債費の支出額は3億6,519万9千円で50.6%、また、特別職と一般職員に給与や手当を支払う職員費の支出額は2億8,355万5千円で48.1%などとなっています。

一般会計全体の予算額に対する支出割合は41.4%で、前年度同期の46.1%より4.7%低く推移しています。

出済額の内訳は「表1」のとおりで、予算額に対して9月30日までに収入した割合は51.9%で、中でも地方

■町税の収入状況（令和4年9月30日現在）

税目	予算現額	収入済額	収入割合
町民税	1億1,384万8千円	6,419万3千円	56.4%
固定資産税	1億4,164万7千円	1億505万2千円	74.2%
軽自動車税	747万6千円	740万1千円	99.0%
町たばこ税	1,646万5千円	986万9千円	59.9%
鉱産税	24万5千円	18万8千円	76.7%
合計	2億7,968万1千円	1億8,670万3千円	66.8%

特別会計の執行状況

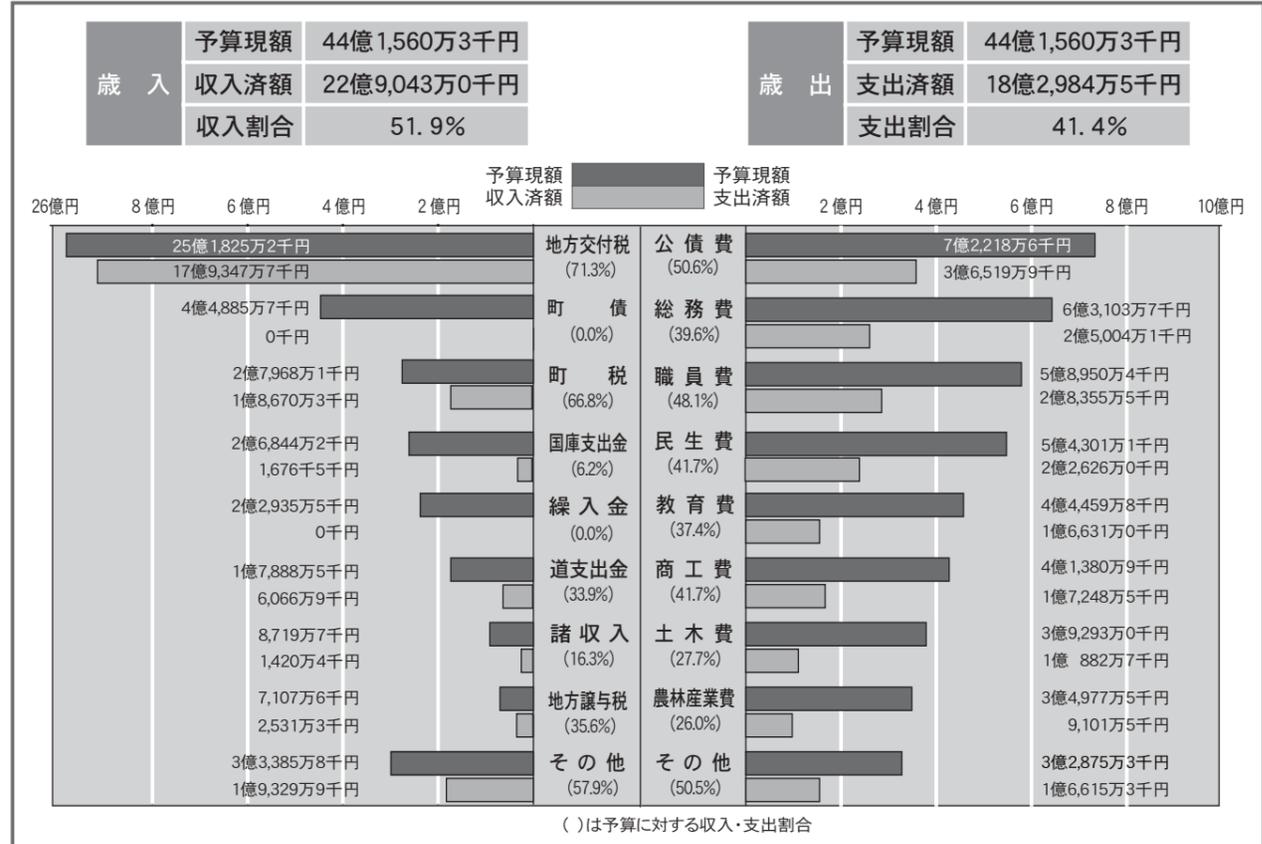
一般会計とは別に健康保険や町立診療所、上下水道などの事業を行う特別会計の予算額と収入済額・支出額は「表2」のとおりとなっており、特別会計全体の予算額に対する支出割合は37.8%で、前年度同期の31.8%より6%低く推移しております。

前年度からの繰越予算

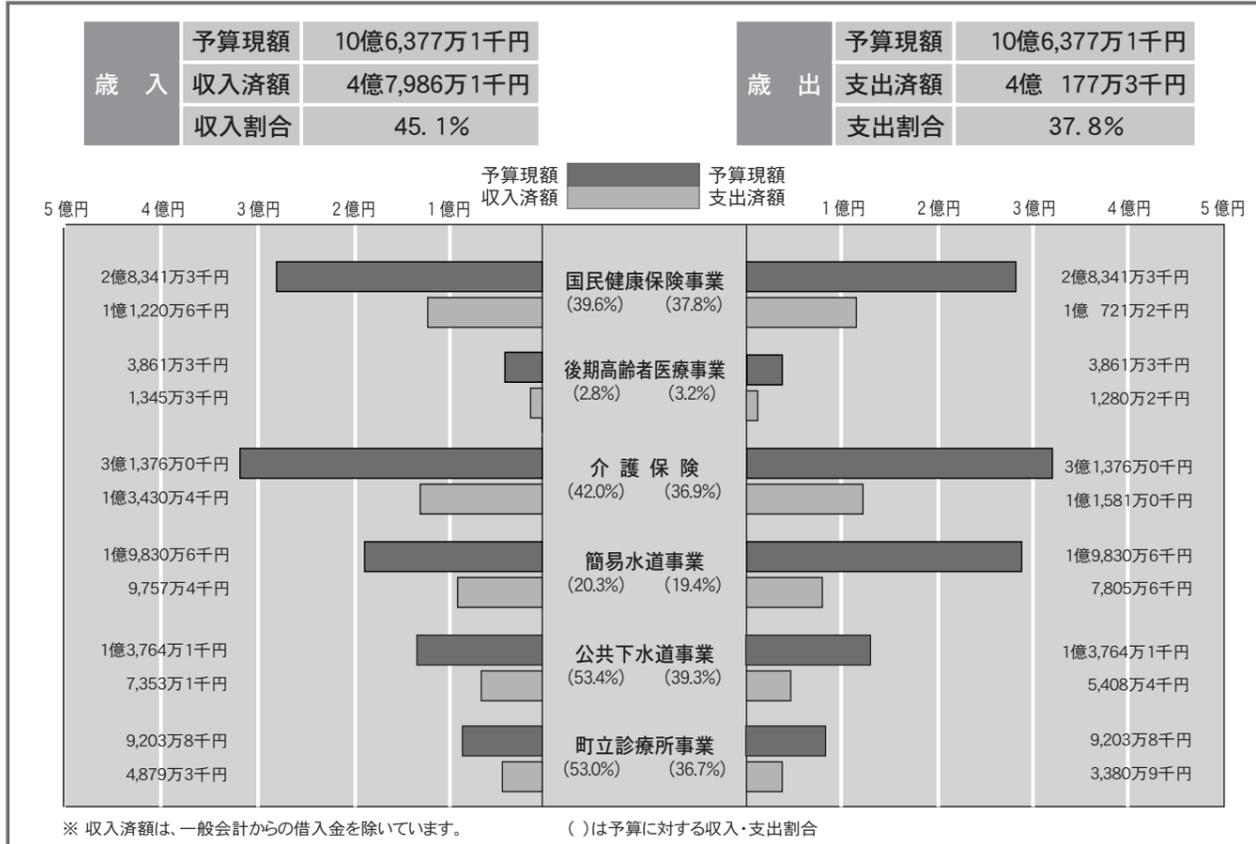
このほか、一般会計の前年度予算のうち事業費を翌年度に繰り越した農地耕作条件改善事業や道営草地畜産基盤整備事業などの繰越予算が3,880万円あり、これらの事業の財源に充てる国庫補助金などの収入済額は1,303万9千円、繰越予算額に対する収入割合は15.1%、支出済額は1,423万8千円で支出割合は36.7%となっています。

繰越予算と本年度の全会計予算を合わせた町全体の予算総額は55億1,817万4千円となり、収入済額は27億7,614万1千円で収入割合は50.3%、支出済額は24億4,585万6千円で支出割合は44.7%となっています。

【表1】一般会計予算の執行状況（9月30日現在）



【表2】各特別会計予算の執行状況（9月30日現在）



広報「みなみふらの」 町とともに歴史を歩み 800号

広報「みなみふらの」は、昭和30年12月に第1号の発行から、町の歴史とともに今月で節目の第800号を迎えます。本号では、これまでの歴史について振り返ります。※第600号特集記事で広報の歴史を一度振り返りましたが、今回は再度振り返り、第600号以降の主たる広報記事も紹介しています。



第727号は、平成28年8月の豪雨災害の被災状況などが掲載されています。
当時の人口：2,614人
世帯数：1,442世帯



南富良野初の広報紙「村報南富良野」は昭和30年12月に発行されました。
当時の人口：9,615人 世帯数：1,858世帯

■第1号
昭和30年12月に「村報南富良野」として、B5サイズ全4ページで発行され、当時の村上壽造村長の発刊のことが始まりでした。
金山ダム建設計画に対して、村の存立が不可能になるとした計画廃止請願を北海道、北海道議会に陳情を行った記事や、本町初となる公営住宅が、幾寅と東鹿越に完成し、構造物概要のほか、「近代的で明るい住宅」と紹介されています。

■第200号
昭和48年9月に発行され、家畜共進会の結果のほか、道民スポーツ大会での町内選手活躍や、町内児童生徒水泳大会の結果が掲載されています。当時の人口は、5,819人で、1,702世帯です。

■第300号
昭和57年4月に発行され、この年の町政執行方針や予算のあらまし記載されており、町政執行方針として、町政の基本姿勢となる福祉村構想の充実、かなやま湖周辺施設整備などが紹介され、当時の予算総額は、28億7,925万7千円でありました。

■第400号
平成2年1月に発行され、出初式や成人式、子供会カルタ大会の様子のほか、来年度新1年生になる子ども達の就学時検診の様子が記載され、新1年生となる子どもは38人いました。当時の人口は、3,700人で、1,355世帯です。

■第500号
平成9年11月に発行され、その年の上半期の財政状況が紹介され、平成8年より本格的な下水道工事も始まったことから、当時の予算総額は、78億8,925万7千円でありました。

■第600号
平成18年3月に発行され、トリノ冬季オリンピック・女子カーリング競技に日本代表として出場し、7位入賞を果たした本町出身の目黒萌絵選手、寺田桜子選手の活躍が掲載されたほか、沖縄県本部町との親善交流団として来町した子どもたちの様子が紹介されています。

■第700号
平成26年7月に発行され、小・中学校や各地区での運動会の活躍の様子や、町内各地区での環境美化活動が紹介されています。当時の人口は、2,690人で、1,473世帯です。

■第727号
平成28年8月に発生した豪雨災害の記事が掲載され、被災した建物や道路、農地などが紹介されたほか、町の復興に活動いただいているボランティアの方々や、お世話になった方々への感謝の気持ちが伝えられています。

■第741号
平成29年12月に発行され、昭和42年4月の町政施行から50周年を迎えた記念式典が掲載され、盛大にお祝いをした様子が紹介されたほか、本部町との友好の町盟約20周年記念として行われた歓迎レセプションの記事が掲載されています。

■第745号
平成30年4月に発行され、平昌冬季オリンピックの男子カーリング競技に日本代表として出場し、健闘された本町出身の山口剛史選手の活躍が紹介されています。

■第795号
令和4年6月に発行され、豪雨災害からの復旧・復興のシンボルとして進めてきた道の駅再編整備による複合型商業施設が開業し、オープンینگセレモニー、施設の概要や仕様のほか、出店店舗の紹介がされています。

以上、広報紙の移り変わりとともに町の歴史を振り返ってみたい。

今後も歩みを続け、さらに町民の皆さんに親しまれる広報紙を目指していきます。

■第100号
昭和38年9月に第99号との合併号により発行され、村議会の審議内容が掲載されており、幾寅・金山地区簡易水道の供用開始などが議決され、当時の予算総額は、2億6,389万9千円でありました。(令和4年9月末の予算総額54億7,937万4千円)

また、昭和36年と37年に大規模な水害に見舞われ、多くの被害を受けたことから防災

■第200号
昭和48年9月に発行され、家畜共進会の結果のほか、道民スポーツ大会での町内選手活躍や、町内児童生徒水泳大会の結果が掲載されています。当時の人口は、5,819人で、1,702世帯です。

■第300号
昭和57年4月に発行され、この年の町政執行方針や予算のあらまし記載されており、町政の基本姿勢となる福祉村構想の充実、かなやま湖周辺施設整備などが紹介され、当時の予算総額は、28億7,925万7千円でありました。

■第400号
平成2年1月に発行され、出初式や成人式、子供会カルタ大会の様子のほか、来年度新1年生になる子ども達の就学時検診の様子が記載され、新1年生となる子どもは38人いました。当時の人口は、3,700人で、1,355世帯です。

■第500号
平成9年11月に発行され、その年の上半期の財政状況が紹介され、平成8年より本格的な下水道工事も始まったことから、当時の予算総額は、78億8,925万7千円でありました。

■第600号
平成18年3月に発行され、トリノ冬季オリンピック・女子カーリング競技に日本代表として出場し、7位入賞を果たした本町出身の目黒萌絵選手、寺田桜子選手の活躍が掲載されたほか、沖縄県本部町との親善交流団として来町した子どもたちの様子が紹介されています。

■第700号
平成26年7月に発行され、小・中学校や各地区での運動会の活躍の様子や、町内各地区での環境美化活動が紹介されています。当時の人口は、2,690人で、1,473世帯です。

■第727号
平成28年8月に発生した豪雨災害の記事が掲載され、被災した建物や道路、農地などが紹介されたほか、町の復興に活動いただいているボランティアの方々や、お世話になった方々への感謝の気持ちが伝えられています。

■第741号
平成29年12月に発行され、昭和42年4月の町政施行から50周年を迎えた記念式典が掲載され、盛大にお祝いをした様子が紹介されたほか、本部町との友好の町盟約20周年記念として行われた歓迎レセプションの記事が掲載されています。

■第745号
平成30年4月に発行され、平昌冬季オリンピックの男子カーリング競技に日本代表として出場し、健闘された本町出身の山口剛史選手の活躍が紹介されています。

■第795号
令和4年6月に発行され、豪雨災害からの復旧・復興のシンボルとして進めてきた道の駅再編整備による複合型商業施設が開業し、オープンینگセレモニー、施設の概要や仕様のほか、出店店舗の紹介がされています。

以上、広報紙の移り変わりとともに町の歴史を振り返ってみたい。

今後も歩みを続け、さらに町民の皆さんに親しまれる広報紙を目指していきます。



▲第700号



▲第600号



▲第500号



▲第400号



▲第300号

1,468世帯です。

■第400号
平成2年1月に発行され、出初式や成人式、子供会カルタ大会の様子のほか、来年度新1年生になる子ども達の就学時検診の様子が記載され、新1年生となる子どもは38人いました。当時の人口は、3,700人で、1,355世帯です。

■第500号
平成9年11月に発行され、その年の上半期の財政状況が紹介され、平成8年より本格的な下水道工事も始まったことから、当時の予算総額は、78億8,925万7千円でありました。

また、町民への下水道説明会での質問内容や町民の回答が紹介されています。当時の人口は、3,296人で、1,314世帯です。

※平成6年4月発行の第455号から、これまでB5サイズサイズの広報紙が、A4サイズに変更されました。

■第600号
平成18年3月に発行され、トリノ冬季オリンピック・女子カーリング競技に日本代表として出場し、7位入賞を果たした本町出身の目黒萌絵選手、寺田桜子選手の活躍が掲載されたほか、沖縄県本部町との親善交流団として来町した子どもたちの様子が紹介されています。

また、600号特集記事として、寺田桜子選手の活躍が掲載されたほか、沖縄県本部町との親善交流団として来町した子どもたちの様子が紹介されています。

■第646号
平成22年1月に発行され、本格稼働したポテトチップス製造工場「シレラ富良野」の記事が掲載され、施設の概要のほか、工場見学レポートとして、工場でのポテトチップ

■第697号・第648号
第721号・第722号
町内小学校の統合に伴い、平成26年4月に発行された第697号では、長い歴史に幕が降ろされた幾寅・落合・北落合小学校の閉校式及び惜別会の記事が掲載され、翌月発行の第648号では、3校が統合された南富良野小学校の開校式と新設された校舎の概要が紹介されています。

また、平成28年4月に発行された第721号では、同じく閉校となった金山・下金山小学校の閉校式及び惜別会の記事が掲載され、翌月発行の第722号では、2校が統合された南富良野西小学校の開校式と新設された校舎の概要が紹介されています。

■第727号
平成28年10月に発行され、本町にとって大変苦しい記憶となる同年8月に発生した豪雨災害の記事が掲載され、被災した建物や道路、農地などが紹介されたほか、町の復興に活動いただいているボランティアの方々や、お世話になった方々への感謝の気持ちが伝えられています。

■第741号
平成29年12月に発行され、昭和42年4月の町政施行から50周年を迎えた記念式典が掲載され、盛大にお祝いをした様子が紹介されたほか、本部町との友好の町盟約20周年記念として行われた歓迎レセプションの記事が掲載されています。

■第745号
平成30年4月に発行され、平昌冬季オリンピックの男子カーリング競技に日本代表として出場し、健闘された本町出身の山口剛史選手の活躍が紹介されています。

■第795号
令和4年6月に発行され、豪雨災害からの復旧・復興のシンボルとして進めてきた道の駅再編整備による複合型商業施設が開業し、オープンینگセレモニー、施設の概要や仕様のほか、出店店舗の紹介がされています。

以上、広報紙の移り変わりとともに町の歴史を振り返ってみたい。

今後も歩みを続け、さらに町民の皆さんに親しまれる広報紙を目指していきます。

「車座ミーティング」

町では、町政の信頼回復に向けて、もう一度原点に戻り、町民の皆さんと同じ目線に立って、お話を聞かせていただき、コミュニケーションを図りながら、町政の課題解決につなげることを目的に、町長が町内で活動をしている団体やグループ及び学生の方と直接話し合う「車座ミーティング」を新たな試みとして、本年7月より開始しました。

「南富良野高等学校生徒」と町の魅力を伝えるグループ「南ふらの水木堂」の方々と意見交換「車座ミーティング」を行いました。

9月15日に行われた「南富良野高等学校生徒」との意見交換では、3年生が参加し「カーリング場を幾度にも造ってほしい」、「町を知ってもらうため、広告宣伝費をもっと使うべきだ」、「道の駅に遊具やドッグランを造ってほしい」などの意見が出されていました。

10月6日の、「南ふらの水木堂」では、町の移住・定住者向けの情報発信についての提案を受けました。



▲南富良野高等学校3年生



▲南ふらの水木堂

両意見交換に参加した高橋町長は、町政の現状なども話しながら、出された意見等に熱心に耳を傾け「率直な意見をいただけたら嬉しいです。様々な意見を聞きながら、町の政策に反映できればと考えています」と話をしていました。

町では、「車座ミーティング」を希望される団体やグループ及び学生の方のご連絡をお待ちしています。

- 「連絡先」
- ・企画課企画振興係（一般団体等）
522115
- ・教育委員会学校教育係（学生等）
522145

「町長への手紙」

「町長への手紙」は、町民の皆さまから町政へのご意見などをお寄せいただくものです。いただいた内容は、町長が拝読し、今後の町政の参考としています。

※町長への手紙の回答は、住所・氏名が記入されている場合は、直接回答をさせていただきます。無記名・個人的な問題や誹謗中傷その他趣旨から外れた内容については回答を行っていませんが、今回いただきました手紙については、職種や地域全体の意見にもつながりますので、広報紙の紙面をもって回答をさせていただきます。

【ご意見】

漁業者もアザラシやトドなどの被害に多額の損害が生じています。北落合も同じです。皆さんもいつものことで、熊を目撃しても誰も警察に通報しませんが、農業被害は深刻ですし、人が被害に遭ってからは遅いです。

熊の被害で売上も減少しており、被害の状況を見ていただき、農家を救済してほしい。このままでは作る気力も失ってしまいます。

鹿の駆除にお金が支払われるように、熊1頭に対しても2万円位のお金を払うようにしてほしい。また、今までは隅の方での被害でありましたが、最近は人目に付く道路側に移ってきています。

【回答】

お問い合わせいただきました熊等の農業被害については、従前から多く北落合についても同様であります。

熊は鹿柵を壊したり、鹿柵の下

を掘って畑に入ったりするなどして農作物を荒らし、食べるなどの被害が多いのが現状です。

奨励金の関係について町では、熊捕獲の奨励金として、1頭当たり町で2万円、JAから2万円、国の事業で8千円を捕獲者へお支払いしています。本年度、熊の捕獲頭数は10頭のうち北落合では、2頭捕獲しています。

そのほか、町では猟銃所持に係る経費の一部、わな免許の取得に係る経費の一部について助成を行っております。また、鹿柵の修繕や熊わなの設置などについては関係機関の協力をいただき対応しているところです。

町といたしましても、熊の被害が減るよう猟友会等とも連携し、町民の皆さまに対しても被害にあわないよう注意喚起も含めて行っていきたくと思っています。

「フォレストタウン記念植樹祭」

結婚やお子さんの誕生を記念して

10月1日「フォレストタウン記念植樹祭」が、金山小果樹農園で行われました。

この事業は、結婚やお子さんの誕生など、記念すべき事柄があったご家族が、町民参加の森づくりを目的に、これまでかなやま湖畔のフォレストタウンの森で275本の記念植樹と、令和元年度からは、町内で栽培されている果樹にも親しんでもらうため、金山小果樹農園で26本の記念植樹を行ってきました。

月までに結婚された方や、お子さんが誕生されたご家族5世帯、17名が参加し、晴天のもと、約1・5メートルほどのサクラソノの苗木を、ご家族で協力しながら植樹してしました。

植樹後には、全員で記念撮影を行い、参加した皆さんへ木製の額に入った記念証と金山小果樹農園で栽培されたぶどうとブルーベリーが贈呈され、わが子の成長と共に、今後の苗木の成長を楽しみにしながら会場を後にしました。



南富良野町における

多文化共生活動の実施

本町では、介護・福祉現場や観光などで、就労し生活する外国人の方々が増え続けています。

町と富良野警察署は、9月21日、関係機関の協力のもと、国籍や文化の違いから慣れない生活をしている外国人の方々と、理解を深め共に生活していくための多文化共生活動を行いました。

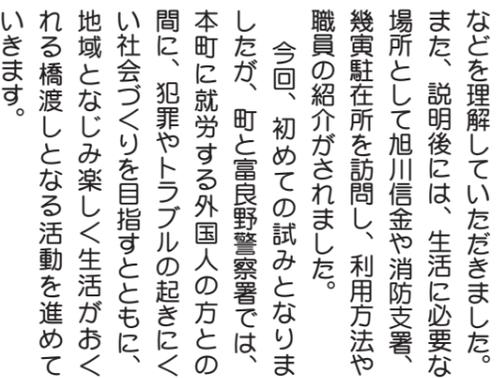
活動では、役場大会議室で参加された（社福）南富良野大乗会の外国人職員8名の皆さんに、町からゴミの分別方法や出し方、災害時の避難所、災害に備える備蓄品



の説明が行われたほか、富良野警察署からは在留カードの携帯義務及び紛失時の措置、交通ルールなどを理解していただきました。

また、説明後には、生活に必要な場所として旭川信金や消防支署、幾寅駐在所を訪問し、利用方法や職員の紹介がされました。

今回、初めての試みとなりましたが、町と富良野警察署では、本町に就労する外国人の方との間に、犯罪やトラブルの起きにくい社会づくりを目指すとともに、地域となじみ楽しく生活が出来る橋渡しとなる活動を進めていきます。



町議会定例会・臨時会 行政報告・教育行政報告

令和4年9月20日から開催されました町議会第3回定例会において、高橋町長が13件の行政報告と鈴木教育長が7件の教育行政報告を行いました内容についてお伝えします。また、令和4年9月1日には、第4回臨時会が行われ、高橋町長が1件の行政報告を行いました。

令和4年第3回
定例会
9月20日

町長の 行政報告



■補助金の収入未済発生について
令和3年度新型コロナウイルスワクチン接種に係る国庫補助金において、制度の理解不足により補助金申請事務を失念してしまい、現時点において補助金875万4千円が未収入となっております。現在、北海道を通じて国に対して実績報告書に基づく補助金の精算交付を要請しておりますが、国では対応を検討中であるとして、未だ回答をいただいております。

■前町長による官製談合防止法違反事件について
昨年6月、町発注の道の駅機械設備工事の競争入札を巡り、池部前町長が工事価格を町外の設備工事に漏らすなどの便宜を図り、その見返りとして現金を受け取ったこと、官製談合防止法違反、加重収賄などの罪に問われた事件について、8月29日に旭川地方裁判所で有罪判決を受けました。

池部前町長が2月14日に逮捕された本事件に関しては、報道を通じて行政として内容を把握することがほとんどであり、裁判開始後は傍聴を行い可能な限り事件の概要を把握するよう努めてまいりました。

■JR根室線について
JR根室線のバス転換については、今後関係4市町村で最終的な判断を行うこととなりますが、鉄路に代わるバスルート案については、国道38号線を経由して落合・幾寅・富良野間を結ぶルートとかなやま湖畔を経由してトマム・落合・幾寅・金山・下金山・富良野間を結ぶルートの2路線を運行する計画でJR北海道並びにバス会社と協議を進めております。

ますので、トマム・富良野間1日3便を計画し、国道38号線ルートと同様に6便とする考えであり、この2路線の運行体制と便数確保の実現に向け現在バス会社と協議を進めております。



■第51回かなやま湖湖水まつりについて
本年度のかなやま湖湖水まつりについては、イベント開催時における道のコロナ感染防止に向けたガイドラインを徹底し、3年ぶりに7月30日に開催しました。

■建設工事の進捗状況について
9月1日現在の町発注の工事の進捗状況については、道の駅再編整備に伴う横断歩道新設工事は既に完了している他、建築工事の南富良野中学校体育館補修工事外4件、土木工事の東幾寅線改良工事、道の駅公園整備工事外5件、衛生設備工事の北落合地区簡易水道配水管布設替工事外1



■SNSを用いた情報発信について
地域住民及び町外に向けての行政情報やイベント情報の発信について、国内外で多くの方が利用されている、SNSツールの「ライン」「ツイッタ」「フェイスブック」「インスタグラム」の町公式アカウントを開設し利用を開始しました。

■地域おこし協力隊の採用について
地域おこし協力隊については、本町における観光振興とまちづくり観光協会の体制強化を図るために募集を行い、5名の方から応募があり、兵庫県と千葉県に住所を有する男女それぞれ1名を採用しました。

■建設工事の進捗状況について
9月1日現在の町発注の工事の進捗状況については、道の駅再編整備に伴う横断歩道新設工事は既に完了している他、建築工事の南富良野中学校体育館補修工事外4件、土木工事の東幾寅線改良工事、道の駅公園整備工事外5件、衛生設備工事の北落合地区簡易水道配水管布設替工事外1

■建設工事の進捗状況について
9月1日現在の町発注の工事の進捗状況については、道の駅再編整備に伴う横断歩道新設工事は既に完了している他、建築工事の南富良野中学校体育館補修工事外4件、土木工事の東幾寅線改良工事、道の駅公園整備工事外5件、衛生設備工事の北落合地区簡易水道配水管布設替工事外1

■建設工事の進捗状況について
9月1日現在の町発注の工事の進捗状況については、道の駅再編整備に伴う横断歩道新設工事は既に完了している他、建築工事の南富良野中学校体育館補修工事外4件、土木工事の東幾寅線改良工事、道の駅公園整備工事外5件、衛生設備工事の北落合地区簡易水道配水管布設替工事外1

■飲食店持続化応援リピーター券の開始について
本町の飲食店の事業継続及び

■地域おこし協力隊の採用について
地域おこし協力隊については、本町における観光振興とまちづくり観光協会の体制強化を図るために募集を行い、5名の方から応募があり、兵庫県と千葉県に住所を有する男女それぞれ1名を採用しました。

■農作物の生育状況について
9月2日現在の農業委員会

■建設工事の進捗状況について
9月1日現在の町発注の工事の進捗状況については、道の駅再編整備に伴う横断歩道新設工事は既に完了している他、建築工事の南富良野中学校体育館補修工事外4件、土木工事の東幾寅線改良工事、道の駅公園整備工事外5件、衛生設備工事の北落合地区簡易水道配水管布設替工事外1

■新型コロナウイルススワク
新型コロナウイルススワクン接種については、3回目までの接種状況は、1,806

人の方が接種を終えられ、接種率は84パーセントとなっております。

また、3回目の接種から5ヶ月以上経過した60歳以上の方及び59歳以下で基礎疾患を有する方、医療従事者、高齢者福祉施設等の職員を対象に意向調査に基づき4回目のワクチン接種を進め、9月中旬に希望される全ての方の接種を終える計画であり、8月末日現在4回目の接種者は、1,064人となっております。

敬老会については、永年、本町の発展にご尽力頂きました高齢者の方々に敬意、長寿をお祝いする機会として開催してきたところであります。

が、道内の新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしているなか、高齢者が感染した場合の重症化リスク等を考慮し、本年度についても中止の判断をさせていただきました。

生活応援券事業については、生活応援券事業については、原油価格・物価高騰に対応する総合緊急対策として、8月4日より施設入所者及び長期入院者を除く町民の方へ「生活応援券」の配付を行いました。

日常生活用品の多くが値上がりするなか、町民の皆様への生活支援とコロナ禍で低迷する地域経済の回復、更には町内消費の活性化に向けた取り組みでありますのでご利用頂きますようお願い申し上げます。

低所得の子育て世帯に対する子育て特別給付金及び北海道子育て世帯特別給付金について

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、1人6万円の特別給付金を支給することにより生活の支援を行うことを目的とした国及び北海道の給付金事業については、13世帯28名の対象者へ7月15日に給付金の交付を終了しましたので報告いたします。

教育長の教育行政報告



令和4年度全国学力・学習状況調査について

中学3年生と小学6年生を対象に4月に行いました全国学力・学習状況調査の結果を報告いたします。本町の結果は、全国平均と全道平均との比較では、小学生は国語・算数・理科の3教科において全道・全道平均を上回り、少数ではあります。個人に適切な指導と学校全体での授業改善の継続により、平成19年度の調査実施以降では最高の正答率となりました。中学生は国語・数学・理科ともに全国平均並びに全道平均を下回りましたが、内容的には正答数で1問に満たないわずかの差が多い結果となりました。

学力を身につけさせるための組織的・継続的な取り組みを進めてまいります。

小中学生の活動状況について

収束の見えないコロナ禍における小中学生の活動状況ですが、本年度の学校プールについては、利用前の手指消毒をはじめ、感染リスクの高い更衣室での利用人数の制限など、密にならないよう指導を行い感染予防を徹底する中で、6月末より授業での使用や夏休み及び放課後のプール開放を行い、多くの子どもたちが利用されておりました。

また、小学6年生の修学旅行につきましては、感染対策を徹底する中で、8月25日から1泊2日の日程で、町内2校合同により「登別マリナーパークニクス」や「ウポポイ」などを見学しました。

南富良野中学校での学校祭は、観覧者を町内の家族に限定するなど感染対策を講じ9月10日に実施いたしました。全道的に新型コロナウイルス感染症の感染が収束せず、感染の波が繰り返される状況ではありますが、衛生管理マニュアルに基づき学校と連携し、基本的な感染予防の継続

南富良野中学校では、町の防災マネージャーから身のまわりの災害リスクについて全体講話が行われ、各学年に分かれ自助・共助・公助を意識しながら体育館が避難所になった場面を想定し、避難所までの救援物資の輸送及び搬入を上富良野駐屯地第4特科群のご協力をいただき、段ボールベッドの組立体験や感染症を考慮しながらの避難所の運営についてのワークショップを行い、昼食時には災害用非常食の試食を行いました。

南富良野高等学校では、防災マネージャーからの講話や6年前の被災現場の見学、NHK旭川放送局のご協力をいただき、当時の被災映像を視



1日防災学校（南富良野中学校）

南富良野中学校・高等学校の部活動大会成績について
中学校の部活動についてありますが、去る6月24日から上川管内の13市町村で構成する中体連上川南部地区の球技大会が各担当地区で開催され、南富良野中学校からは、ソフトテニス・卓球と近隣中学校と合同で編制した野球の計3種目に出場しました。コロナ禍において制約の多い部活動ではありますが、代表選の出場まであと一歩に迫る団体や個人の種目もあり、それぞれの部員が健闘し、特に3年生は最後の大会としてチームをけん引していました。南富良野高等学校では、6

南富良野高等学校の事務事業等の取組について
最初に学校祭につきましては、3年ぶりに一般公開を行いました。生徒たちは高校生活の一大行事である学校祭を満喫するとともに、町内の有志の方のご好意により屋台も登場し、学校祭の盛り上げにご協力いただきました。介護職員初任者研修につきましては、介護職として働く上で基本となる知識及び技術を修得するために奨励して

南富良野高等学校の事務事業等の取組について
次に稚内市にありまます育英館大学と南富良野高等学校による高大連携協定を7月26日に締結いたしました。この締結により大学側からの出前講義や双方のカーリング部の合宿などアウトドア授業を含め、本校の生徒と学生の交流を通して、学びや学生生活が充実するよう今後連携を深めてまいります。



南富良野高校見学説明会

市・江別市・千歳市内の22校、旭川市内26校、併せて147校を訪問し、3年生2万人分の学校パンフレットを配付しました。8月30日の見学説明会では、町内をはじめ富良野沿線や旭川市、遠くは札幌市、江別市、千歳市から中学生48名と保護者など36名の計84名の参加をいただき、在校生による学校紹介やアウトドア活動の動画を聞いたプレゼンテーションのほか、部活動や下宿などのテーマに分かれた座談会が行われ、保護者や生徒からの質問に在校生が丁寧に説明し、学校生活の様子が伝えられました。また、参加した中学生48名にアンケート調査を行い「中学生が思う南

富良野高等学校の魅力は」という質問に対し多い順に主な回答として、①「少人数指導」②「アウトドア授業」③「模擬試験費用助成」が上位となり、「進学先の高校を選ぶ上で重視したいポイントは」という質問に対しては、①「部活動」②「学校行事」③「学校のイメージ」という結果でありました。少子化に伴い中学校卒業生数が減少傾向にあることから、魅力ある選ばれ学校づくりに努めてまいります。

また、大学進学に向けた学方向上の取り組みにつきましては、小さな学校でも希望する大学への進学を叶えるため、放課後講習や夏休みの集中講習を行い、タブレットによるWebテストなどを活用し、生徒1人ひとりに応じた学習を進めてまいりますとともに、生徒の学力向上のためには、教員の指導力向上が欠かせないことから、教科ごとの学校視察や研修会などへ積極的に参加し、教師力の向上に努めてまいります。

■沖縄県本部町親善交流事業について

本町と盟約調印を交わしております沖縄県本部町の親



沖縄県本部町親善交流事業

善交流事業として、交流して深めております本町の「南の国の真夏に挑む体験の旅」につきましては、本部町をはじめ、町内の各小中学校のご理解とご協力をいただき、3年ぶりに実施することができました。小学6年生を第1班として、9名全員を6月27日から7月1日の4泊5日の日程で、また、小学6年生の時に派遣を見送っておりました現在の中学1・2年生を第2班として、1年生17名・2年生12名の計29名全員を7月11日から15日の4泊5日の日程により本部町を訪問しました。コロナ禍での派遣であり、出発前と帰町前の抗原検査の

実施に加え、ホームステイは行わず、全て宿泊施設の利用など感染対策を徹底し、全日程を計画どおり実施することができました。

■幾寅地区の仮設パークゴルフ場について

平成28年の豪雨により保健福祉センターみなる横の「やわらぎ公園」が被災し、パークゴルフができなくなり、南富良野小学校グラウンド外周にコースを設置してまいりましたが、本年度は山村広場ゴルフ練習場内に18ホールのパークゴルフコースを設置し、火曜日は午後5時までの1日、金曜日はゴルフボールの収集完了後から午後5時までの概ね半日とし、9月2日から仮設パークゴルフ場としての利用を開始いたしました。それぞれの愛好者にはゴルフ練習場との併用のためご不便もあろうかと思いますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年第4回 臨時会 9月1日

■8月16日の大雨による被害状況について

8月15日夜から16日にかけて、道内を通過した低気圧に伴い本町に大雨・洪水・雷注意報が発令され、16日午前10時49分からは洪水警報が発令され、24時間雨量で幾寅地区観測所では112mm、金山地区観測所では118mmを観測し、空知川等の各河川水量が増加したことから、町では16日朝6時より警戒態勢の中、職員による2回の町内巡視を行いました。

国道では38号線の落合新得間、道道は落合占冠停車場線並びに石勝高原幾寅線が、それぞれ通行止めとなるなどの交通障害が発生し、金山ダムでは流入量増に伴う計画放水が行われました。

なお、町の警戒態勢につきましては、大雨警報が解除になりました。16日19時に関係機関等への連絡を行い解除いたしました。



水田畔道崩壊箇所

また、町内の被害状況につきましては、町道で北落合地区6路線、幾寅地区1路線、金山地区1路線、串内地区4路線の計12路線が路盤流出等による被害、農地では幾寅地区で種子馬鈴薯作付農地への浸水被害1カ所、下金山地区で水田畔道の崩落被害1カ所、林道では落合地区東落合線の洗掘被害が確認されておりますので、報告いたします。

この被害に対する復旧費用につきましては、9月定例町議会にてそれぞれ補正予算措置させていただく予定となっております。

カメラレポート CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

交通安全旗の波作戦 (9月21日)

町民体育館の前で、秋の交通安全を呼びかける旗の波作戦が実施されました。

町交通安全協会と交通指導員協議会、幾寅・落合駐在所、幾寅婦人会、幾寅寿クラブの皆さんが、国道沿いの歩道に立ち「ゆっくり走ろう」、「シートベルト着用」の旗を振り、通過する車両に対して交通安全運転の呼び掛けを行いました。



稲刈り体験で先人の苦勞を学ぶ (9月22日)

南富良野西小学校では、児童が春に田植えを行った「はくちょうもち」が、黄金色に実り、永井洋平さん(下金山)と下金山老人クラブの協力のもと、稲刈り体験を行いました。

児童は、永井さんと下金山老人クラブの皆さんから稲刈りの仕方や鎌の使い方などの説明を受け、泥だらけになりながら稲を刈り、コンバインなど機械がない時代の先人たちの苦勞を体験していました。

刈り取られた稲は、児童が脱穀を行い、冬に行われる餅つき集会でみんなで美味しく味わいます。



陸上自衛隊(旭川)によるヘリコプター離着陸訓練 (9月26日)

陸上自衛隊(旭川)が、町の場外離着陸場である「かなやま湖畔第6駐車場」及び「東鹿越旧地域交流センターグラウンド」を使用して、ヘリコプターの離着陸訓練(実地検証)を行いました。

町では、防災関係機関のヘリコプターが使用する場外離着陸場を町内各所に指定しており、実地での訓練や検証など、こうした平常時からの備えを万全にすることで、万一の災害発生時における迅速且つ円滑な救援活動の実施が期待されます。

また、森林面積が約90%を占める本町の地域特性も踏まえ、今後は山林火災を想定した空中消火訓練の実施などについても関係機関と調整を進めるなど、引き続きの防災体制の充実に努めていきます。



町民の皆さんが道の駅に集う (10月1日)

幾寅地区連合町内会では、道の駅感謝祭に併せ幾寅地区の住民の皆さんを対象にした「お楽しみ抽選会」と「子供広場」を開催しました。

当日は、天気にも恵まれ秋晴れの陽気の中、多くの幾寅地区の住民の皆さんが道の駅に集まり、抽選会のほか、子供広場では型抜きをはじめ、ヨーヨーすくい、スーパーボールすくいが行われ、久しぶりの町内会のイベントに、会場は笑顔で溢れていました。また、抽選会後には、物産センターや複合型商業施設のレストラン、フードコートに立ち寄り、買い物や飲食を楽しんでいました。



秋空の下マラソン大会 (10月9日)

町スポーツ協会(西山雅明会長)主催による「かなやま湖マラソン大会」が、町保健福祉センターみなくるを発着点に、81名の選手が参加して開催されました。

大会は、小学校低学年2kmから一般年齢別10kmまでの男女別種目とオープン種目として4kmウォーキングなど16種目が行われました。各選手は自分のペースに合わせ健脚を競ったり、湖畔を彩る紅葉の景色を楽しみながら、スポーツの秋を楽しんでいました。



美しい風景の色鉛筆画展 (10月1日~11日)

埼玉県在中の金山和美さんが、ログホテルラーチと保健福祉センター「みなくる」で色鉛筆画展を開催しました。

金山さんの町内での画展は、今回で14回目となり、ラーチで10日間、「みなくる」で1日の日程で開かれました。会場には、金山さんが18年前にラーチに初めて宿泊して、景色が気に入り描き始めた本町を中心とした周辺地の色鉛筆画が40点ほど展示され、訪れた皆さんは、色鮮やかな美しい風景の作品に目を奪われていました。



思いやりの心を大切に (10月15日)

南富良野西小学校では、酒井 智人権擁護委員と山下勝子人権擁護委員を招いて、人権教室を行いました。

教室では、インターネットによる人権侵害を学ぶため、スマホを使うときのルールやマナー、ネットで起こり得るトラブルのDVDを鑑賞し、教室の最後には、酒井委員と山下委員から、児童へ「メールやSNSを利用する場合、相手の気持ちを考え自分の書いたことに責任を持ってほしい」と話されていました。



農産物直売所作倶楽感謝祭 (10月16日)

下金山地区の農産物直売所「作倶楽」が、今シーズン5ヶ月間の最後の営業を行いました。

午前9時の開店前から多くの買い物客が訪れ、駐車場に設置された屋外売店には、秋に収穫された玉ねぎやじゃがいもなど多くの種類の野菜やほうちょう米などが並びました。

また、トマトの詰め放題や作倶楽の名物おはぎ、赤飯も大人気であり、買い物をした方の先着100名には、かぼちゃ1玉が配られ、感謝祭は大きな賑わいを見せていました。



辰見 裕之さんが教育委員に任命

平成18年10月から16年間、教育委員を務められました河野高好さん(下金山)が、この度、任期満了により退任され、新たに辰見裕之さん(金山)が教育委員に任命されました。

辰見さんは、9月20日から開催されました第3回町議会定例会において、同委員の任命の同意を得て、10月1日付で高橋町長から辞令が交付されました。任期は令和8年9月30日までの4年間です。



観光協会 通信 ⑥

南富良野まちづくり観光協会 ☎39-7000

道の駅南ふらの感謝祭を開催しました

10月1日、日頃から道の駅エリアを利用いただいている皆さんに「ありがとう」の気持ちを込めて「道の駅南ふらの感謝祭」を南富良野町振興公社と共催で開催しました。

当日は天候にも恵まれ「JAふらの」と「なんぶ香房森のパン屋」複合型商業施設の各飲食店の協力を得まして、町内外から多くの方々が来場されました。JA富良野では、野菜の詰め放題や農産物の販売、振興公社では、自社製造している特産品を格安で販売、森のパン屋と各飲食店では、当日だけの限定メニュー



メニューや特別価格での提供を行うなど感謝祭ならではの取り組みが行われました。また、お買い物をいただいた方には、ランチペア宿泊券や各飲食店の食事券、特産品の詰め合わせが当たる抽選会も行い、大きな賑わいを見せていました。ご協力をいただきました関係者の皆さまへお礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご協力を得ながら、訪れるお客さまに満足いただける「道の駅南ふらの」のマネージメント目指して参ります。



教育委員会通信

学校教育係・生涯学習係
☎52-2145

町の文化財や史跡について紹介します 第3回目は「大塚徳松之碑」です。

※第2回目「内藤農場解放記念碑」は10月号に掲載しています。

「大塚徳松」とはどんな人？
東鹿越における石灰石鉱床を最初に発見したのは「篠崎福次郎」と言われています。篠崎福次郎は、東鹿越の幾寅寄りの方で石灰石を発見しており、今日、石灰石を掘っている大沢地区の石灰石の存在を知りませんでした。この大沢地区の石灰石鉱床を発見したのが、大塚徳松でした。

篠崎福次郎は、石灰石の存在を知らない状況で大沢地区の石灰石採掘権利を浅野信太郎に譲渡しました。この権利譲渡に大塚徳松が関与しており、浅野信太郎は、結果的に篠崎福次郎から譲渡された権利を王子製紙株式会社に譲渡することになります。この譲渡にも大塚徳松が関与していたといわれており、当時石灰石鉱山の発見者として重要な人物でした。

しかし、大塚徳松は不幸にも過失によって起きた火事により焼死するという運命にありました。

「南富良野町史上巻」から引用抜粋



現在の大塚徳松之碑



石灰原石の採取作業(明治期) 東鹿越

大塚徳松の歴史は、町史に詳しく記載されています。下記QRコードからご覧ください。



※南富良野町ホームページ内サイト(生涯学習係)にて史跡情報を掲載しています。

＜南富良野町千里大学活動案内＞

令和4年8月25日の千里大学で、「防災学習フィールドワーク」が開催されました。3か年に渡る防災学習で、令和2年度に防災に関する知識の習得、令和3年度にフィールドワークとして、落合・幾寅地区の被災地域の見学を実施しており、令和4年度は、金山・下金山地区のフィールドワークを行いました。金山ダム、下金山地区にある山部頭首工等の見学を実施し、ダム等の役割について再認識することができる授業内容でした。



金山ダム見学時の様子



山部頭首工内見学時の様子

南富高新聞

第66号

発行
南富良野高等学校

「自分たちの町をよりきれいに！」
生徒・先生全員で校外清掃」

9月28日(水)に学校周辺の清掃活動を行いました。国道沿いを中心に、3か所のエリアをそれぞれ学年別に分かれ、清掃しました。

普段、町内会やボランティアの方々が活動していただいてはおかげで、ゴミの量はそれほど多くはなかったですが、くまなく探していくと、路肩には、タバコの吸い殻やガラスの破片などが落ちていました。

好天候のもと、生徒、教員全員で取り組んだ清掃を通し、町の美化に対する意識を学校全体で高めることができました。

終了後には、千木町町内会様からいただいた、冷たいペットボトルのお茶に喉も心も爽やかな気分になりました。



▲清掃活動



▲出前授業

「異文化理解を深めるには」
大学教員による出前授業」

9月27日(火)北海道大学商学部李鳳(イ・ボン)准教授をお招きし、出前授業を行いました。テーマは「隣国理解・異文化理解」その始まりとしての外国語学習」でした。

李先生は、韓国出身で北海道大学に留学したのをきっかけに、その後も日本で大学教員として生活しています。講義の中では、異文化理解力を伸ばしていくためには、「自分の国と違う文化が存在することを認識して行動すること」やその際、相手側の「良い」「悪い」を判断するのではなく、それを自分の「興味」「関心」に変換することだと教えてくれました。

最後には「国籍に関係なく、オープンマインド(相手を想う気持ち)で、世界は繋がることができる」というメッセージに、参加した全学年の生徒達が真剣に耳を傾けていました。講義後には、生徒からの質問も多く飛び交い、南富高生の積極性に李先生も驚くほどでした。今回の講義をこれから思

シリーズ学校だより(236)

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野小学校▶▶▶

南富良野小学校は、8月17日から2学期が始まり、児童たちは日々の学習や学校行事等、それぞれしっかりと目標をもって生活しています。

「経験を生かした修学旅行」
8月下旬、6年生が修学旅行に行ってきました。今年度の行先は、登別マリンパークニクス、伊達時代村など。事前に自分たちで役割を分担したり、見学コースを決めたり、グループに分かれしっかりと話し合うことができました。当日も時計を確認しながら5分前行動を実践し、荷物の整理整頓も自分でできるとできました。

本部町交流事業の経験を活かし、自分たちで考え、行動することができました。

「備える心」

今年度も、本校では各学年で3時間の防災学習を実施しました。



防災学習

た。災害発生前の気象情報や川の変化と避難情報について学びました。また、町の防災マネージャーから、町で起きた具体例などをお聞きし、防災に対する意識をより高めることができました。

「イトウと町の自然を知る学習」
4年生では、南富良野町の豊かな自然の中から川やイトウ、水生生物についての学習を行っています。狩勝沢、ユクトラシユベツ川、トマム沢等で、見学調査を行い、内容をまとめています。子どもたちは、川にいろいろな種類の生物がいることや川の周辺の環境について新たな発見をしていきます。この学習を通して、町の自然環境のすばらしさを知り、守っていくこととする気持ちを育成しています。



イトウと町の自然を知る授業

木々の葉が紅葉して秋を迎えましたね。朝、晩の冷え込みで体調を崩していませんか？冬に向けて寒さに負けない体作りを心掛けましょうね。

一緒に遊ぶ仲間をいつでも募集しています！！



☆ぷっこクラブ（救命救急講習会）

AEDの使い方や心肺蘇生法を学びました。積極的に質問をするお母さんたちが頼もしかったです。



☆ぷっこクラブ（散歩）

虫や鳥、お花等を見つけてスタンプラリーをしながらお散歩しました。



☆育児講演会(ヨガ)

4組の参加でした。体をほぐしてリラックスできました。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

幾寅保育所では、毎月、テーマを決めて全クラスで造形製作を行っています。今月のつぼみ組（0・1歳児クラス）のテーマは、秋の果物の「ぶどう」です。「ぶどう」の形に切った台紙にベタベタと丸型のおりがみを、子どもたちは真剣な表情で貼り付けてくれました。



金山保育所

金山保育所では、9月に講師の先生を招いて、運動遊びを行いました。

久しぶりの運動遊びに、子どもたちは嬉しそうに体操などを行い、最後には曲に合わせてみんなで元気よくダンスを踊りました！



しょうぼう広報 ほのお

富良野消防署南富良野支署
☎52-2119 FAX52-2979
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp
災害案内 ☎52-3119

11月9日は119番の日

住民からの的確な119番通報は、国民の生命・身体・財産を守る消防活動の迅速さと確実性につながります。通報すると、消防職員から、「火事ですか？救急ですか？」と聞かれます。その後、次のような内容をお尋ねしますので、落ち着いて対応しましょう。



＜火災の場合＞

- ・発生場所（住所・階層・近くの目標物等）
- ・どこが何が燃えているか？
- ・逃げ遅れやけが人はいるか？
- ・初期消火は行ったか？
- ・通報者の氏名・電話番号



＜救急の場合＞

- ・発生場所（住所・階層・部屋の番号・近くの目標物等）
 - ・誰がどうしたのか？
 - ・通報者の氏名・電話番号
- ※新型コロナウイルスの関係で発熱の有無を聞いていますので、ご協力をお願いします。



＜交通事故の場合＞

- ・発生場所（住所・近くの目標物等）
- ・どういう事故か？（軽自動車の単独事故・乗用車と乗用車の正面衝突事故等）
- ・オイル漏れ等がないか？
- ・けが人（閉じ込められている人）はいるか？
- ・通報者の氏名・電話番号



男性・女性消防団員募集中
消防団に関することは消防係まで



南富良野支署出動件数（令和4年1月1日～9月30日）

- 救急出動 122件（うちドクターヘリ要請件数16件）
- 火災出動 4件（うち他市町村応援出動 1件）
- 救助出動 3件

寄贈

富良野ライオンズクラブ(藤野和紀会長)の結成60周年を記念し、本町の青少年の健全育成への支援として、ミニセグウェイ5台とスピードガン1台を寄贈いただきました。

9月23日に富良野市内で開催されました同会60周年記念大会において贈呈式が行われ、藤野会長から高橋町長に手渡されました。



寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

- 幾寅 石川信行様より故石川幸雄様生前のご厚志に対するお礼として 十万円
- 幾寅 定塚さだ様より故定塚定雄様生前のご厚志に対するお礼として 十万円
- 幾寅 中村則之様より故中村エイ子様生前のご厚志に対するお礼として 五万円
- 幾寅 石川信行様より故石川幸雄様生前のご厚志に対するお礼として 十万円
- 幾寅 定塚さだ様より故定塚定雄様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

社会福祉協議会へ

- 幾寅 黒田勝様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 百万円
- 一味園・からまつ園・こやぐら園・ふくしあへ
- 幾寅 幾寅婦人会 様
- 幾寅 石川信行 様
- 幾寅 中村則之 様
- 幾寅 新谷英彰 様
- 幾寅 山下英治 様
- 下金山 小蕎重一 様
- 下金山 小蕎寿子 様
- 富良野市 佐々木みゆき 様
- 富良野市 白澤英二 様
- 富良野市 杉山昌子 様
- 幕別町 土田勉 様
- 雨竜町 大井宏紀 様
- 札幌市 札幌こども専門学校 様
- 小樽市 前北啓子 様
- 神奈川県 三原智恵子 様

★お悔やみ申し上げます

- 幾寅 石川 幸雄(97)
令和4年9月1日逝去
- 金山 白澤 隆子(91)
令和4年9月4日逝去
- 幾寅 中村 エイ子(92)
令和4年9月5日逝去
- 幾寅 石川 ミヤコ(106)
令和4年9月10日逝去
- 幾寅 佐藤 和子(83)
令和4年9月17日逝去
- 幾寅 定塚 定雄(92)
令和4年9月19日逝去

🍎 わたしたちのまち

(令和4年9月末日現在)
人口 2,345人(△6)
男 1,200人(△4)
女 1,145人(△2)
世帯数 1,332戸(△8)
()内は前月比